



2022年4月27日

各 位

会 社 名 SMN株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 井宮 大輔
(コード番号：6185 東証プライム市場)
問 合 せ 先 執行役員 鈴木 勝也
(TEL. 03-5435-7930)

読売新聞東京本社との業務提携及び資本提携（第三者割当増資）に向けた基本合意書締結に関するお知らせ

当社は、株式会社読売新聞東京本社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山口寿一、以下「読売新聞東京本社」）とデジタルを軸とした広告ビジネスで協業していくことで基本合意いたしました。

さらに、当該業務提携の強化を目的として読売新聞東京本社を引受人とする第三者割当増資による資本提携に向けた基本合意書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業務提携及び資本提携の目的

当社は、ソニーグループで培った技術力をベースに、マーケティングテクノロジー事業を展開しております。「技術力による、顧客のマーケティング課題の解決」を実現するため、ビッグデータ処理と人工知能のテクノロジーを連携し進化を続け、現在、DSP「Logicad」、マーケティング AI プラットフォーム「VALIS-Cockpit」のほか、テレビ視聴データ広告配信サービス「TVBridge」を新たに提供するなど、マーケティングに関する様々な課題解決を実現しております。

当社は、読売新聞グループの保有する、新聞読者をベースとした370万IDのデータ基盤「yomiuri ONE」(※1)と当社の保有するインターネット接続テレビ約780万台の視聴データ「Connected TV Data Bridge(TVBridge)」(※2)を連携させ、新聞とテレビの接触データを掛け合わせたデータマーケティングを初めて実現することで、広告にとどまらず、広告主や企業にとって最適なソリューションを提供するとともに、生活者にとって心地よいコミュニケーション社会の実現を目指すため、読売新聞東京本社とデジタルを軸とした広告ビジネスで協業していくことで合意いたしました。

さらに、今後の協業体制をより一層強固にし、ビジネスを促進させるため、資本提携に向けた基本合意書を締結いたしました。

2. 業務提携及び資本提携

(1) 業務提携の内容

- ①新聞読者をベースとしたデータ（yomiuri ONE）とテレビ視聴データ（TVBridge）を連携させ、当社のLogicad DSP（※3）を基に、新たに開発する「YxS アドプラットフォーム」での広告配信に活用
- ②新聞広告の最適な使い方やテレビCMの最適な放映時間帯などを割り出して、デジタル広告では届きにくいターゲットの周辺層にリーチするとともに、デジタル広告をセグメント配信することでコアターゲット層には的確に届け、複数メディアを横断しつつその相乗効果を高め、統合型マーケティング（※4）を実現
- ③広告主の持つ顧客データや店舗購買データと連携させることによるマーケティング効率の向上のほか、データをもとにした戦略立案など、広告の領域を超えたソリューション施策の提案を実現
- ④人工知能VALIS-Engineによる分析や広告主の保有するデータ、外部データなどを組み合わせることで、広告への接触履歴や直接・間接効果の可視化を行い、オンライン広告とオフライン広告を横断して評価できる新たな広告効果指標の開発

なお、データの連携は個人情報には紐づかない形で行い、プライバシー保護には十分配慮します。



(2) 資本提携の内容

① 読売新聞東京本社は第三者割当増資により SMN (株) の株式の 5 % 程度の取得を検討

3. 読売新聞東京本社の概要

(1) 名称	株式会社読売新聞東京本社	
(2) 所在地	東京都千代田区大手町 1 丁目 7 番 1 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山口 寿一	
(4) 事業内容	日刊新聞発行業	
(5) 資本金	10 億円	
(6) 設立年月日	2002 年 7 月 1 日	
(7) 発行済株式数	100,000 株	
(8) 決算期	3 月 31 日	
(9) 大株主及び持株比率	株式会社読売新聞グループ本社 100%	
(10) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

4. 今後の見通し

現時点では、業績へ与える影響額は未定です。

今後、業務提携及び資本提携に関して開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※1 yomiuri ONE

読売新聞東京本社が運営する「読売 ID (会員数 270 万人)」をはじめ、読売巨人軍、読売旅行の会員 ID を含めた計 370 万 ID の属性に加えて、読売新聞グループ会社の運営するサイトの閲覧属性や、第三者情報の推定属性データを蓄積した CDP (※5)。

- ・ 読売 ID について : <https://my.yomiuri.co.jp/>
- ・ yomiuri ONE について : <https://adv.yomiuri.co.jp/digital/files/yomiuriONE.pdf>

※2 TVBridge

大手テレビメーカー4 社が、ユーザーから広告用途への利用許諾を得て取得している約 780 万台分のテレビ視聴データに、SMN が保有するデジタルメディアの接触データを組み合わせて、効率的な広告配信を実現するデータ活用サービス。

- ・ TVBridge サービスサイト : <https://tv-bridge.com/>

※3 DSP (Demand Side Platform)

広告主の広告効果の最大化を支援する広告配信プラットフォーム。広告媒体社の広告収益を最大化するためのプラットフォーム SSP (Supply Side Platform) とともに、RTB (Real Time Bidding) を通じて、広告枠の売買をリアルタイムに行っています。

※4 統合型マーケティング (IMC=Integrated Marketing Communication)

統合型マーケティングコミュニケーションのことで、ウェブサイト、ソーシャルメディア、広告、実店舗など生活者につながるチャンネルを統合的に管理しマーケティングに活用するもの。YxS では「360° IMC」というコンセプトを掲げ、オンライン・オフライン・宣伝・販促の全方位のマーケティングコミュニケーションを実現します。

※5 CDP (Customer Data Platform)

顧客データを活用するデータ基盤で、オンライン・オフラインのデータを蓄積しています。